

## JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第158回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第159回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第59回総会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿
- ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

### ◇日本惑星科学会第158回運営委員会議事録

期間:2023年4月28日(金)~5月9日(火)

議題:EPS誌の会計業務契約と次年度の科研費申請について

#### 運営委員会委員:

出席(23名)

竝木 則行, 今村 剛, 中村 昭子, 玄田 英典, 保井 みなみ, 奥住 聡, 関根 康人, 大竹 真紀子, 千秋 博紀, 小林 浩, 田中 秀和, 諸田 智克, 瀧川 晶, 臼井 寛裕, 三浦 均, 横田 勝一郎, 中本 泰史, 亀田 真吾, 関 華奈子, 村上 豪, 百瀬 宗武, 野村 英子, 癸生川 陽子

欠席(0名)

成立条件:期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす

議決方法:上記期間内に steering@wakusei.jp 宛に投票

#### 議題 1:

EPS 誌会計業務契約の委託について, 新しい業者との契約の了承を求める.

#### 経緯:

- ・ 昨年度まで会計関連業務は, 五学会とUnibio Press とで委託契約をしていた.
- ・ 昨年度終盤にUnibio Press から, 業務の縮小化のため昨年度末までで契約を打ち切りたいという申し出があった.

#### 現状と今後:

- ・ Unibio Pressとの協議の結果, 次の契約相手が見つかるまでとの条件で延長することになった. 今期中途での打ち切りを織り込んだうえで, 現契約を自動更新する.
- ・ 次の契約相手についてEPS運営委員会で検討し, (株)プロアクティブに今年度途中より委託する方向とした.

年額96万円+税程度になる予定である。※(株)プロアクティブ:神戸に本社のある業者。SGEPSSの事務業務委託先。

**審議結果:**

議案は原案のとおり承認された(可23・否0)。

**議題2:**

EPSの次年度科研費(今回)の申請は、SGEPSSの単独申請を考えている。その了承を求める。

**今後:**

各学会での承認を経て(JpGUを目処に)、科研費申請に関するアイデアの吸い上げを夏ごろまでに行う。

**審議結果:**

議案は原案のとおり承認された(可23・否0)。

以上

## ◇日本惑星科学会第159回運営委員会議事録

日時:2023年5月19日(金)18:30-20:30

場所:オンライン開催

**運営委員:**

出席者 16名

竝木 則行, 今村 剛, 中村 昭子, 玄田 英典, 保井 みなみ, 奥住 聡, 大竹 真紀子, 千秋 博紀, 小林 浩, 田中 秀和, 諸田 智克, 三浦 均, 横田 勝一郎, 亀田 真吾, 村上 豪, 百瀬 宗武

欠席者7名

白井 寛裕, 中本 泰史, 関 華奈子, 関根 康人, 瀧川 晶, 野村 英子, 癸生川 陽子  
(委任状:3通)

**オブザーバー:**

寺田 直樹(2022年学会賞選考委員長)

藪田 ひかる(2023年秋季講演会組織委員長)

門屋 辰太郎(2023年連合大会プログラム委員)

佐伯 和人(財務専門委員)

藤谷 渉(総務専門委員)

**議題・報告事項:**

1. 日本地球惑星科学連合:プログラム委員会(門屋 連合大会プログラム委員)
  - ・ 2023年度JpGUにおける学協会セッションは3つ
  - ・ 来年度の委員は伊藤 祐一会員, 吉田 辰哉会員

- ・ 来年度の惑星科学セッションのコンビーナ3人は承諾済
2. 2022年度最優秀研究者賞について(寺田 2022年学会賞選考委員長)
- ・ 最優秀研究者賞の選考経過について説明がなされた
  - ・ 応募者は3名うちキャリアオーバーは2名
  - ・ 応募資格緩和についての説明がなされた(今年はそれにより応募者が増えたわけではない)
  - ・ 4月27日のオンラインによる選考委員会において、野津翔太会員を候補者として決定した
  - ・ 野津会員は学生発表賞も取っていたが、その以前および以後両方の素晴らしい業績により受賞候補者として選出された
  - ・ 上記は本運営委員会において承認された
3. 学会賞選考委員の入れ替え(保井 総務専門委員長)
- ・ 2023年度学会賞選考委員について、3名は継続、5名は新規(再任予定の1名が今年の審査に参加困難なため)
  - ・ 委員長:黒川 宏之会員, 委員:癸生川 陽子会員(1年のみ), 檜村 博基会員, 鈴木 絢子会員(以上, 継続), 百瀬 宗武会員, 亀田 真吾会員, 山本 聡会員, 鎌田 俊一会員(以上, 新規)
  - ・ 上記は本運営委員会において承認された
4. 2023年秋季講演会について(藪田 2023年秋季講演会組織委員長)
- ・ 活動計画についての報告がなされた
  - ・ 会期:2023年 10月11日(水)-13日(金), 12日に総会と懇親会
  - ・ 開催形式:基本的に対面, 状況に応じてZoom利用する可能性あり
  - ・ 場所:口頭発表会場 広島市文化交流会館, ポスター会場 JMSアステールプラザ, 懇親会場 ホテルメルパルク広島
  - ・ 7月3日:参加申込開始, 7月24日:発表申込締切, 9月1日:参加申込締切
  - ・ 参加費:正会員 5,000円, 学生会員 3,000円, 非会員 6,000円, 懇親会費 7,000円
  - ・ 今年は一般講演会なし
  - ・ 懇親会費を学生は低額にするか, 今後検討
5. 今後の秋季講演会の開催形態について(玄田 行事部長)
- ・ 発表時間(一般講演)が年々短くなってきている(去年は8分)旨の説明がなされた
  - ・ 当面はシングルセッションを継続, パラレルはLOCの負担が大きい, 惑星科学という特性上シングル希望の意見が強い
  - ・ 発表時間(Q&Aを含む)を10分以上確保するためには(発表数が多い場合)セレクションの必要あり, セレクションする場合は遊星人に明記する
  - ・ 2023年度の広島開催では試験的にSOCを立ち上げる, それ以降はSOCもしくは投稿順によりセレクション
  - ・ これまでの経験から必ずしもいつもセレクションをしなければならないわけではなかった
  - ・ 投稿順でのセレクションはレベルの低い発表をはじけない, そのため今年はSOCを立ち上げて少し様子見
  - ・ セレクションするとポスター会場の確保が困難?日にちによって貼り替えが必要かも
  - ・ これまででもLOCがセレクションしたことはある(例えば旭川), 旭川LOC(鎌田会員)へコンタクトしてみる
  - ・ セレクションについては総会では(採めるかもしれないので)話さない
  - ・ 上記, 今後の活動指針は本運営委員会において承認された

## 6. 第16期下期決算(佐伯 財務専門委員)

- ・ 決算報告がなされた
- ・ まだ監査は終わっておらず、総会までには監査を終わらせたい
- ・ イーサイドが3月で撤退し木田さんが独立したことにより、伝票がバラバラに来て作業量が多い
- ・ 会費収入はほぼ例年通り(データベースでは一般会員の会費収入になぜか端数が出ている, 入金額と通帳の額は一致していることは確認している)
- ・ 学会誌出版事業収入もほぼ例年通り
- ・ 昔使っていたみずほ銀行に振り込まれ続けていた遊星人著作権料を今年初めて雑収入に入れた
- ・ 事務委託費という支出がなくなった(これまではイーサイドに委託)
- ・ 業務委託費として木田さんの給料と経費を扱う
- ・ 秋季講演会事業料支出は同収入と同額となった
- ・ 管理費(事務局関連), レンタルオフィス代, レンタルサーバー代などが新たに必要になった
- ・ 学会賞特別会計は例年とほぼ同じ
- ・ 監査委員から、「木田さんへお願いすることを契約書を作って明文化するように」とのコメントあり
- ・ 以上は総会にて承認を行う

## 7. 第17期上期予算執行状況(横田 財務専門委員長)

- ・ 会計中間報告がなされた
- ・ 収入, 支出ともにほぼ予算案通り
- ・ 収入: 支払済み会員数 369名, 未納会員数: 226名

## 8. ウェブサーバのメモリ増設について(千秋 情報化専門委員長)

- ・ 2022年度秋季講演会の前後でウェブサーバの反応がとても遅くなり, メモリ不足ではないかと判断
- ・ 対応として, メモリを1Gから4Gに増設したい旨の提案がなされた(2000円/月程度の出費)
- ・ メモリを増設してもいずれ溢れるかもしれないが, その周期を長くはできるだろう
- ・ 動作が重く感じたら再起動するという手もあるが, 活発に利用されている状況では落とせない
- ・ 増設費用は月割りなので, 秋季講演会前後に増設するというのも手ではある
- ・ もう少し様子見をして秋季講演会前に増設する, という提案がなされ, 本運営委員会において承認された

## 9. 次期EPS編集委員長の選考委員の選出について(大竹 欧州誌専門委員長)

- ・ 3名推薦する必要あり, 今年度中に選考したいので夏までに選考委員を出したい
- ・ 会長・副会長・大竹欧文誌専門委員長の4名で推薦する旨の提案がなされ, 本運営委員会において承認された

## 10. 遊星人の発行状況報告(三浦 編集専門委員長)

- ・ つつがなく発行されている
- ・ 新連載が3つほど企画されている
- ・ 編集幹事は瀧川会員から関口会員へ引継がれた

## 11. 第16期下期活動報告, 第17期上期活動計画(保井 総務専門委員長)

- ・ 第16期下期活動報告として, JpGU, 秋季講演会, 遊星人, EPS, 最優秀研究者賞, 最優秀発表賞・優秀発表賞, 惑星探査データ解析実習会, 共催・協賛・後援, 学会運営(総会や運営委員会), 学会員数などについて説明がなされた

- ・ 第17期上期活動計画として、JpGU、秋季講演会、遊星人、EPS、最優秀研究者賞、フロンティアセミナー、惑星探査データ解析実習会などについて説明がなされた
12. 入退会状況報告(保井 総務専門委員長)
- ・ 正会員一般:508名, 正会員学生:82名, シニア会員:42名(少し増えた), 賛助会員:3名
13. 第59回総会の議長・書記の推薦について(保井 総務専門委員長)
- ・ 議長に片岡章雅会員, 書記に細野七月会員が推薦され, 本運営委員会において承認された
14. その他
- ・ 事務局新体制について会長などがチェックして, 各種委員にしわ寄せが行かないようにする努力が必要
  - ・ 会長の所信表明として, 他学会との交流(特に若手の交流)を増やす活動を行っていきたい
  - ・ 専門委員会の委員長を引継ぎについて, 今期のうちに計画的に引継ぎをし, 次の運営委員会で選考されるようにする
  - ・ steering MLにたくさんの人が残っているのが問題なので, 過去の会長・副会長くらいを残してあとは除く
  - ・ 学生賞審査への協力要請, 惑星科学会側はSGEPSS側に比べてコメントが少ないのでなるべくコメントを

以上

## ◇日本惑星科学会第59回総会議事録

日時:2023年5月22日(月) 12:30-13:30

場所:オンライン開催

正会員数:590名

定足数:59名

参加人数:84名(投票時参加人数は103名)

委任状:88通(議長:83通, はしもと じょーじ会員:2通, 保井 みなみ会員:2通, 中村 昭子会員:1通)

### 1. 開会宣言

保井総務専門委員長が開会を宣言した。

### 2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に片岡 章雅会員, 書記に細野 七月会員が選出された。

### 3. 議事

#### 3.1. 審議事項

・第16期下期(2022年度活動報告)(竝木会長)

日本地球惑星科学連合2022年大会及び秋季講演会の開催状況などの説明がなされた。学会誌、欧文誌の発行が問題なく行われたことが説明された。最優秀発表者賞、優秀発表賞の受賞があった事が説明された。惑星科学フロンティアセミナーの開催などがあった事が説明された。

・第17期上期(2023年度)基本方針(竝木会長)

日本地球惑星科学連合2023年大会が現在開催中である事及び2023年度秋季講演会が開催予定などの説明がなされた。学会誌、欧文誌の発行予定がある事が報告された。最優秀発表賞、優秀発表賞がある事が報告された。フロンティアセミナー及び探査データ解析実習会が開催予定である事が報告された。竝木会長からの所信表明演説が行われ、関連学会との連携の継続、体制・組織の報告などがされた。

・第16期下期(2022年度)会計決算報告(佐伯財務専門委員)

2022年度はイーサイドが撤退したため、元タイーサイドで働いていた木田氏に事務委託を行ったなどの説明がなされた。監査委員の方から木田氏の定量的に明確な契約書を作ると意見されたなどの説明がなされた。おおよそ例年通りの収入であったが、ただし5000円の端数があり、本来一般会員は1万円単位なのでこの端数は出ないはずなので、原因調査中との報告がなされた。この原因について調べる事で監査合格となった。また、2011-2021年分の過去著作権料が入った口座が発見されたため、これを現在使っている口座に移動したとの報告があった。

・会計監査報告(大概会計監事)

終始決算に誤りの無い事が報告された。

・その他

特になし。

・質疑応答及び討論

イーサイドの撤退に関して管理費の増額はどれくらいか、改善の見通しはあるか、会費の値上げなどの可能性はあるかとの質問がなされた。佐伯財務専門委員より、現行の体制はこれまでとほぼ変わらないコストで動いているが、これから外部委託を増やすと、増額の可能性があるとの回答がなされた。

・採択

審議事項の採決が行われ、賛成: 191(うち出席者103)、反対: 0、保留: 0により採択された。

### 3.2. 報告事項

・第17期上期(2023年度)予算執行状況(横田財務専門委員長)

2023年度予算執行状況に関して予定通り執行されている事が報告された。

・2022年最優秀研究者賞受賞者発表(寺田学会賞選考委員長)

野津 翔太会員が最優秀研究者賞に選ばれた。

・2023年秋季講演会について(薮田2023年秋季講演会組織委員)

2023年度秋季講演会の開催計画について報告がなされた。開催期間は2023年10月11日(水)-13日(金)であり、広島市内(口頭は広島市文化交流会館、ポスターはJMSアステールプラザにて)で対面を主に開催を予定していると報告がなされた。7/3から参加申込開始予定との報告がなされた。

・各種専門委員会・作業部会等報告

なし。

- ・その他  
特になし.

#### 4. 議長団解任

#### 5. 閉会宣言

保井総務専門委員長が閉会を宣言.

以上

### ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2023年9月25日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

- ・Harris Geospatial 株式会社
- ・株式会社ナックイメージテクノロジー
- ・株式会社ノビテック

### ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

(a) 場所, (b) 主催者, (c) ウェブページ/連絡先など.

転記ミス, 原稿作成後に変更等があるかもしれません。各自でご確認ください。

---

#### \* 2023/8

---

##### \*\* 2023年8月7日(月)-8月11日(金) Asia-Pacific Regional IAU Meeting 2023 (APRIM2023)

- (a) ピックパレットふくしま
- (b) 国際天文学連合 (IAU), 日本学術会議, 会津大学, 日本天文学会
- (c) 問い合わせ先(<https://aprim2023.org/contact/>)

##### \*\* 2023年8月8日(火)-8月10日(木) 第51回可視化情報シンポジウム

- (a) グランドパーク小樽
- (b) (一社)可視化情報学会
- (c) 第51回可視化情報シンポジウム・事務局 (E-mail: [symp2023\[at\]vsj.jp](mailto:symp2023[at]vsj.jp))

---

#### \* 2023/9

---

##### \*\* 2023年9月20日(水)-9月22日(金) 日本流体力学会 年会2023

- (a) 東京農工大学 小金井キャンパス
- (b) 日本流体力学会
- (c) 年会2023実行委員会 (E-mail: [jsfm2023\[at\]nagare.or.jp](mailto:jsfm2023[at]nagare.or.jp))